

学園教職支援センター紹介



自学、自習スペース



幼稚園・保育園求人ファイルや採用試験受験報告書

教職支援センターは平成19年4月に発足した学内でも新しい組織の一つです。

平成18年7月11日付けの中央教育審議会答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」で謳われている中の「教職課程の質的水準の向上」を主眼に置き、神戸女子大学の在学生の約半数に及ぶ教員免許状取得希望者への支援を行っています。平成23年度からは保育士養成に関することも当センターにおいて取り扱っています。

センターは従来、学内の幾つかの部門や特定の教員で個々に対応していた教職課程に関する履修指導、編入学生や科目等履修生への履修指導、教育実習指導、教職ガイダンス、学校ボランティア、学校インターンシップ、スクールサポーター、教員免許状申請、教員採用対策指導、教職課程認定業務、専任教員の定数管理業務等を体系的にそして一元的に取り扱い、教学と事務のより緊密な関係を築き、学生個々の適性や履修履歴などに応じて、きめ細かい指導・助言・援助が行えるよう、教職指導の充実に努めています。

センターには常駐の教職課程担当専任教員（現在2名）を配置し、教職に係わる指導や相談を常時行える体制を整えています。学生の自習スペースを設け、教員・保育士採用情報や教育関連情報を検索できるように7台のパソコンを設置してさらに、全国の教員採用試験問題集や小・中・高等学校の教科書、授業指導案、採用試験受験報告書などを自由に閲覧できるように配慮しています。

事務部門では、教職課程履修相談、教育実習・介護等体験、保育実習手続き、教員免許状や保育士資格一括申請手続き、教職課程認定申請、既修得単位認定、スクールサポーター、学校ボランティア、学校インターンシップに関する手続き、教員採用試験手続き、幼稚園・保育所就職手続き、各種対策講座・ガイダンス運営などを行い、教職・保育の事務手続きにおける「ワンストップサービス」を展開しています。

さらに昨年度より「教職卒業生ネットワーク」を立ち上げ、教職に就いている卒業生や教職を目指している卒業生と在学生、本学教職員の相互交流、教職に関する研修会（教員免許更新講習含む）、新任教員の方のサポート、教職情報の提供、教職志望の在学生への指導と交流などの活動を徐々に展開していく予定です。



全国の教員採用試験の要項を揃えています

短大入学式後にミニコンサート 今年も開催
 大学入学式後に学生の手作り歓迎セレモニー
 神戸女子大学A館耐震改修工事完了
 両キャンパスに売店が新規オープン



短大入学式後にミニコンサート 今年も開催

平成23年4月3日(日)に神戸ポートピアホールにおいて、第62回入学式を挙行了しました。

式典終了後、今年も「新入生歓迎コンサート」が開催され、保護者を含め約900名の方々にクラシック音楽でくつろいでいただきました。中田 昌樹氏の指揮でアルカディア室内管弦楽団の演奏によるモーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」第1楽章、ソリストにソプラノ歌手寺本 郁子さんを迎えてシューベルトの「アヴェ・マリア」など8曲を聴いていただきました。



大学入学式後に学生の手作り歓迎セレモニー



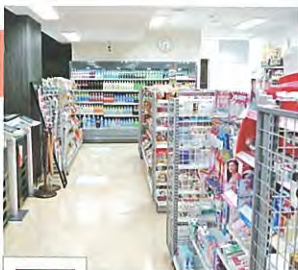
平成23年4月4日(月)に神戸ポートピアホールにおいて平成23年度神戸女子大学入学式を挙行了しました。式典終了後、在学生の企画・運営による「歓迎セレモニー」が開催されました。司会・進行は、神戸女子大学同好会「放送研究会SGBC」のメンバーが担当しました。

大学紹介、各学科の先輩からのメッセージ、神戸女子大学管弦楽団によるミニ・コンサートなど、歓迎の気持ちが伝わる手作りの歓迎セレモニーとなりました。

神戸女子大学A館耐震改修工事完了

須磨キャンパスの神戸女子大学A館耐震改修工事(平成22年5月17日～平成23年3月25日)が無事終了し、平成23年3月30日(水)に竣工清祓式が行われました。あわせて、A館のメインタワー「神戸女子大学」のサインも新しくなりました。

(裏表紙写真参照)



A館1階
 須磨キャンパス[生活彩家]
 Quality Store
 生活彩家
 営業時間
 平日 8:00～18:00
 土曜日 8:00～15:00



CAMPUS SHOP
 PORT
 営業時間
 平日 8:00～17:00
 土曜日 8:00～15:00
 B館食堂2階
 ポートアイランドキャンパス[PORT]

両キャンパスに売店が新規オープン

平成23年4月1日(金)から須磨とポートアイランド両キャンパスに今までの装いも新たにコンビニ・売店がオープンしました。

須磨では店舗のまわりにくつろぎのスペースも設置され学生達から好評です。

英語演劇鑑賞の夕べ

ウィリアム・シェイクスピア作「から騒ぎ」公演



今年もインターナショナル・シアター・カンパニー・ロンドン (ITCL) の日本公演が、14の大学と2つの一般会場で開催されました。神戸女子大学文学部英語英米文学科も主催校のひとつとしてその公演を支えてきました。

神戸女子大学の公演は今年で6回目を迎え、平成23年5月24日(火)に須磨キャンパス体育文化ホールで上演され、約700名の観客が楽しみました。

「から騒ぎ」は、「リア王」、「じゃじゃ馬馴らし」、「夏の夜の夢」、「ハムレット」、「オセロー」に続く6回目の演目です。「から騒ぎ」は恋人たちが繰り広げる愉快な言葉遊びが魅力の恋愛喜劇で、観客席は終始楽しい雰囲気になりました。

照明、アナウンス、受付といった公演の運営は、英語英米文学科の学生が中心になって行いました。今回は、東日本大震災の募金活動も行い、多くの来場者の皆さまにご協力いただきました。集まった募金は日本赤十字社へ寄贈させていただきます。

平成22年度フードスペシャリスト資格認定試験全国トップ成績、加藤 映美里さん 日本食糧新聞社から取材を受ける



加藤さん(中央)と田中教授(右)

平成23年5月11日(水)午後、今春神戸女子短期大学食物栄養学科を卒業して神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程に編入学した加藤 映美里さんが日本食糧新聞社からの取材を受けました。

彼女は平成22年度フードスペシャリスト資格認定試験において全国トップの成績を収めたため、日本フードスペシャリスト協会からの取材要請があったものです。

日本食糧新聞社はフードスペシャリストに関連する記事を取り上げる中で、今回は認定試験成績1位の人物に焦点を当てて紹介することとなりました。加藤さんは約6,000名の受験者の中でトップの成績(102点/110点満点)で資格を取得し、その勉強方法や日頃の授業での取り組み姿勢など、元担任の田中 智子教授の同席の下で取材を受けました。本内容は6月1日開催の日本フードスペシャリスト協会総会で掲載紙が配布され、会員各位に紹介されました。